

式辞

下妻第一高等学校、別名為桜学園の桜が見事に咲き誇り、華麗な花吹雪が舞い、木々の芽吹きが希望の春の訪れを告げています。

本日、ここに、PTA会長 古橋英樹 様、為桜同窓会会長 小倉敏雄 様をはじめ、本校縁のご来賓の方々と保護者の皆様のご臨席を賜り、平成三十年度茨城県立下妻第一高等学校入学式を、厳粛かつ盛大に挙行できますことは、私たち教職員にとりましてこの上ない喜びであります。深く感謝申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました280名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を教職員一同心より歓迎いたします。

また、保護者の皆様、お子様のご入学を心からお祝い申し上げます。

今、新入生の皆さんの胸中は、下妻一高生になった喜びと希望に満ち溢れ感激も一入であろうと思います。

皆さんが今ここにいるのは、中学校生活の中で学習や部活動などに積極的に取り組み、本校への進学を目指し、ことさら厳しい今年度の入学試験を乗り越えてきた結果です。これは皆さんの努力はもとより、これまで皆さんを支え応援してくれたご家族を始め、ご指導を下さった先生方などの存在があつてのことだという感謝の気持ちを忘れないで下さい。

本校は、1897年、明治34年4月に創立された茨城県尋常中学校下妻分校を起源とし、昨年度、創立百二十周年を迎えた歴史と伝統を誇る名門校であり、皆さんは121年目という新しい一歩を踏み出す新入生となります。

本校が「為桜学園」を名乗るのは、幕末の水戸藩で活躍した藤田東湖作の漢詩、「文天祥正気の歌に和す」の一節「発いては万朶の桜と為る」にちなみ、衆芳を抜かんとする生徒の心意気を、その姿が他を圧倒する桜にたとえています。

この為桜の精神は絶えることなく受け継がれ、本校の校是である「文武不岐」を実践し、卒業生は、2万8千名を超え、地域社会はもとより国の内外を問わず、幅広く活躍されています。

さて、今日から始まる下妻一高生としての三年間は、皆さんの将来の方向性を決める重要な時期となります。下妻一高に入学することが目標であったことは事実ですが、入学した今、それは既に通過点となりました。気持ちを切り替えて下さい。みなさんには常に前を向いて進んでいく姿勢を望みます。下妻一高は全人教育を目指す進学校です。皆さんを、鍛え育て成長させるための様々な仕組みが用意されています。それはたやすく克服できるとは限りませんが、甘えを捨てて乗り越えて下さい。そのとき、皆さんの周りには必ず

友人や先生方の姿があるはずです。思いやりと友情を育むことも忘れないで下さい。下妻一高での三年間を過ごした先に見えてくる風景を皆さんと共有することを我々教職員も楽しみにしています。

現在、教育環境には劇的な変化の波が押し寄せています。入学試験の形態も大きく変化します。不安を抱くのは当然のことと思います。しかし、学問の本質や我々がこれから取り組む学習の基本は変わることはありません。周囲の状況に惑わされず本来やるべきことを着実に実行していくことが大切です。下妻一高にはそのための方策が蓄積されています。

ここで、下妻一高の教育方針を示す校訓5章を紹介します。

- 一 心身を鍛練し、堅忍不拔の志気を修養すべし。
- 一 光陰を惜しみ、労働を辞せず、学習の務を尽くすべし。
- 一 質素儉約を守るべし。
- 一 長上を敬し、下輩を愛し、和楽を貴ぶべし。
- 一 規律を重んじ、以て公共の徳義を立つべし。

さらにこの内容を要約したものとして綱領三項目を「誠実」「剛健」「進取」としています。耳慣れない表現かもしれませんが、ただいま申し上げた言葉の意味を体現することを理想として日々励んで下さい。

次に、保護者の皆様に改めてお祝い申し上げます。

お子様の本校での三年間は、少年期から青年期への移行期にあたり、人生の中で最も多感な時期であると共に、自立した人間へと成長し、将来の進路希望を実現していく上でも重要な時期であります。

お子様が学校生活の中で、一步ずつ着実に心身ともにたくましい成長を遂げると共に、進路希望実現に向けて最大限の努力をしてくれるものと確信しております。

しかしながら、その成長過程においては、迷い悩み苦しむこともあるかと存じます。その様なとき、ご家庭と学校が、お互いの理解と信頼のもと、協力して支援してまいりたいと考えております。保護者の皆様には、本校の教育方針と指導について、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新入生の皆さん、いよいよ下妻一高での高校生活が始まります。一日一日を大切に、自らの可能性を追求してください。三年後、自分の高校生活を誇りに思えるよう頑張ってください。皆さんが、充実した三年間を送ることを期待すると共に、ご来賓各位と保護者の皆様のご健勝を祈念し、式辞といたします。

平成30年4月9日 茨城県立下妻第一高等学校長 細野晃一

